

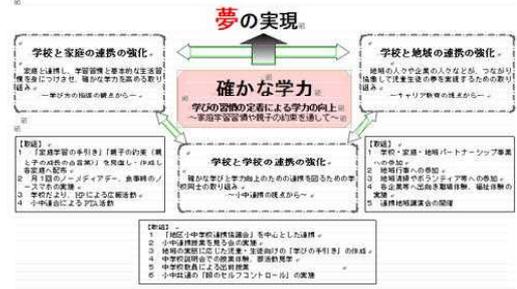
「平成28年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の推進地域の取組

拠点校名	いわき市立植田中学校
推進協力校名	いわき市立植田小学校 いわき市立菊田小学校

確かな学力をめざして

9年間を見通し、学校・家庭・地域をつなぐ教育活動を展開し、児童生徒に確かな学力を身につけることをめざし、本地区では、学力向上に向け次の2点を重点として「つなぐ教育」を展開してきました。

- 1 これまでの各学校での取組をもとに、生活習慣、家庭学習習慣の育成を図る。
- 2 小・中学校の円滑な接続のため、小・中学校の授業参観や講演会等の行事を設定し、教職員、保護者の意識高揚を図る。



〈植田方部全体構想〉

主な取組

1 学校と学校をつなぐ

事例1 《小学校と中学校の授業参観》

小中学校の研究授業をお互いに参観することで、児童生徒の実態の把握とともに、教科指導の連続性について理解を深めることができた。

中学校は、いわき市中学校教育研究会の授業公開であったため、小学校からも10名以上の多くの先生方に参観していただき、生徒の成長の姿と専門的な指導についての感想もいただいた。



小学校での公開授業

事例2 《小学校と中学校の共通実践》

中学校で現在実施している「セルフコントロール」を小学校でも実践した。児童の集中力をさらに高めたいという小学校の先生方に、中学校での朝と帰りの短学活前の様子を見ていただき、小学校では朝の時間に実践することとした。毎朝落ち着いて生活をスタートできると同時に、小・中学校の朝の生活の連携を図ることができると思われる。

(※セルフコントロールとは、音楽を流しながら瞑想をすることで、自分の気持ちを集中させる時間。)



中学校でのセルフコントロールの様子

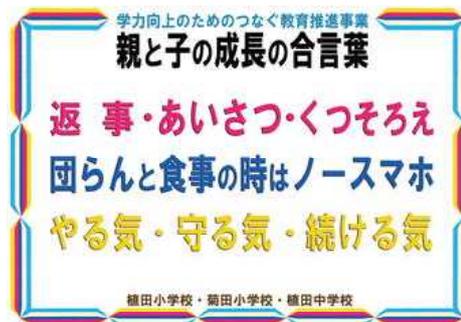
2 学校と家庭をつなぐ

事例1 《地域共通の取組》

各学校の研修主任を現職教育部、生徒指導主事を生徒指導部として組織した。そこでの協議検討の結果、現職教育部では、「家庭学習の手引き」の見直し、生徒指導部では「親子の約束（親子の成長の合言葉）」を作成し、全家庭に配布した。「家庭学習の手引き」は児童生徒の勉強部屋へ、親子の約束は、親子が確認できる居間や台所に掲示できるよう保護者の協力を得た。

事例2 《教育講演会》

「つなぐ教育」推進事業でご指導をいただいている福島大学副学長の小沢喜仁氏を講師に招き、植田中学校学区及び植田東中学校学区のPTAを対象とした教育講演会を実施した。約100名の保護者や教職員が集まり、小沢先生の講演会を聴講し、学校・保護者・地域が協働して児童生徒を育て、夢を持たせて、その実現のために何をしなければならぬかを学ぶことができた。



家庭生活における親子の約束



教育講演会の様子

3 学校と地域をつなぐ

事例1 《地域清掃やボランティア活動》



生徒会で呼びかけた生徒たちによるゴミ拾い

事例2 《福祉施設体験》



3年生が老人ホーム等施設へ訪問

地域清掃やボランティア活動は、生徒会役員が中心となり、12月に実施した。今年度は、夕方からのボランティア活動は、暗く危険であることとゴミが見つげにくいことから、週休日に行ってみた。週休日にも関わらず、30名以上の生徒が参加し、ゴミ袋6袋分のゴミを拾うことができた。

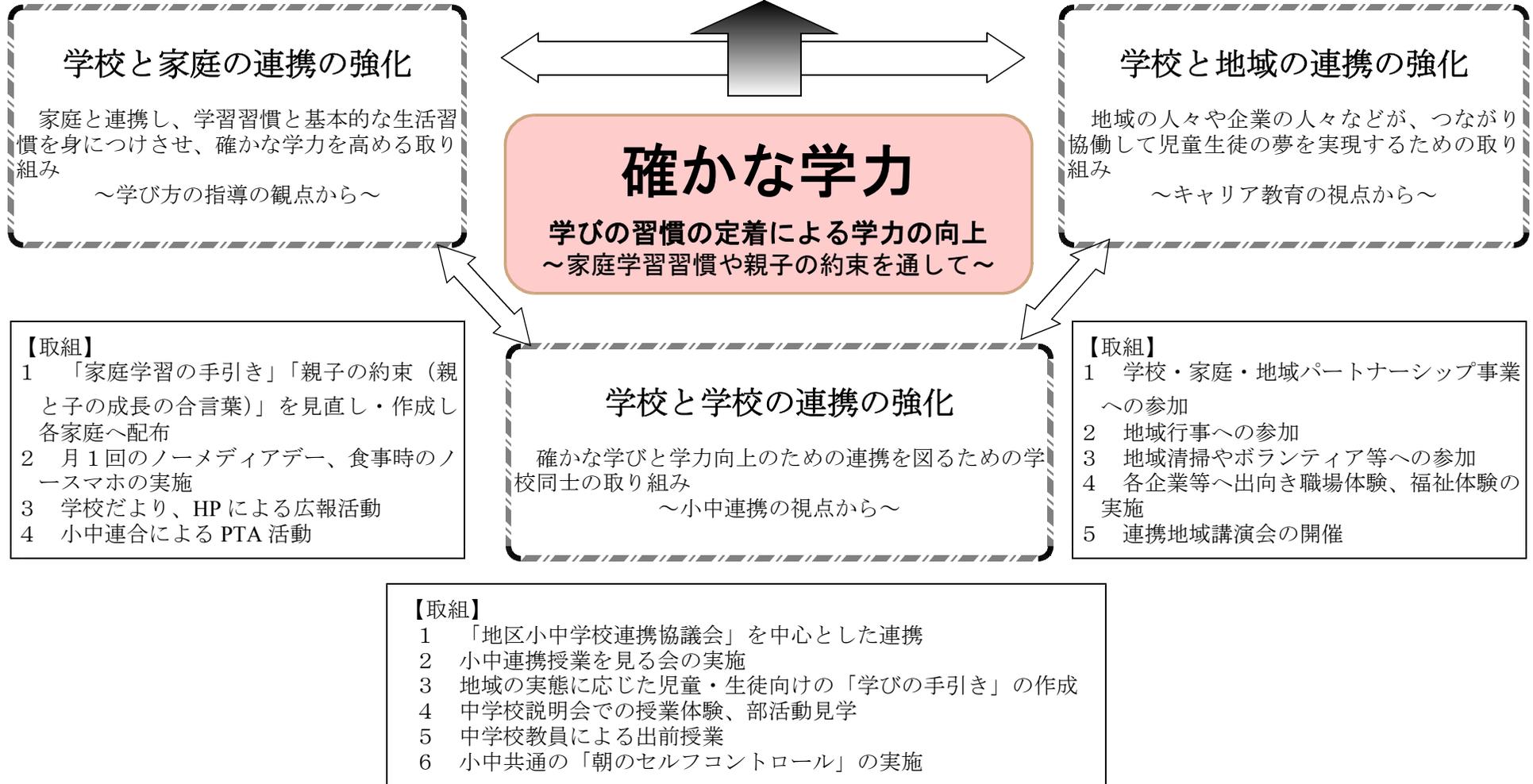
福祉施設体験は、3学年の総合的な学習の時間で2日間にわたり実施した。高齢化が進むなか、高齢者の方と一緒に過ごすことで、接し方等について生徒にとってとてもよい経験となった。また、施設へのアンケートからも生徒の訪問が好評であり、次年度も継続してほしいという回答が多数であった。

成果と課題

小・中連携により、「家庭学習の手引き」「親子の約束」の作成、セルフコントロール、授業参観等、小・中共同で理解・作成・実践ができたことは大きな成果であった。ただし、「家庭学習の手引き」「親子の約束」の完成が2学期半ばまでかかってしまい、1年間で家庭への浸透は難しく感じた。そのため、来年度の児童生徒の分まで印刷をし来年度に備えた。

植田方部「つなぐ教育」事業全体構想

夢の実現



学力向上のためのつなぐ教育推進事業

親と子の成長の合言葉

返事・あいさつ・くつそろえ

団らんと食事の時はノースマホ

やる気・守る気・続ける気

植田小学校・菊田小学校・植田中学校